

トップに聞く

——コンクリート製品製造の道内大手として、札幌のJRタワーや渡島管内七飯町の北海道新幹線車両基地など大型施設に製品を納入しています。

「僕たちは北海道をつくり始めた会社です。苫小牧港や道東道もうちのコンクリート。全ては作品です。車で走っていると『ここはうちのものが入っている』と分かるから、思わず逆に手掛けていい構造物を見ると悔しくなります。今は2020年の東京オリンピックへ向け、東京の港湾整備で排水用製品を納入しています」

——ロシア、モンゴル、ミャンマーなど海外6拠点

会沢高圧コンクリート社長

会沢 祥弘さん(51)



あいざわ・よしひろ 中央大卒。日本経済新聞社に入社後、記者として米ニューヨーク総局駐在などを経て、98年に会沢高圧コンクリート入社。02年、2代目の父実氏(現会長)を継ぎ、現職。旧静内町(現・新ひだか町)出身。

会沢高圧コンクリート
1935年に旧静内町(現・新ひだか町)に会沢コンクリート工業所として創業。63年に同社設立。生コン、コンクリート製品製造を手掛ける。苫小牧に本社、新ひだか町内に本店。製品工場はむかわ町や新ひだか町など道内10カ所、道外5カ所に展開。海外6拠点にグループ会社を持っています。2017年3月期の売上高は約167億円。従業員は495人(今年4月現在)。

技術革新でコスト減

——材料の研究も熱心で、より多く技術革新していることがあります。

——蒲生美緒

——コンクリート製品製造事業に参画し、技術力を発揮しています。

「07年、ベトナムのサイゴン川の地下道路建設に参画したのが海外進出の始まりです。大手ゼネコンから『暑くてコンクリートが作れない。助けて』と言われ、現地工場の品質管理を請け負った。うちは寒い北海道でやつてきたから挑戦でしたよ。寒冷地も高温多湿地

にもグループ会社を持ち、開発途上国で、日本の政府開発援助(ODA)の大規模事業に参画し、技術力を発揮しています。

「07年、ベトナムのサイゴン川の地下道路建設に参画したのが海外進出の始まりです。大手ゼネコンから『暑くてコンクリートが作れない。助けて』と言われ、現地工場の品質管理を請け負った。うちは寒い北海道でやつてきたから挑戦でしたよ。寒冷地も高温多湿地

域も製造の品質管理が難しいんです。ただ、本質は一貫性。原材料の温度や湿度管理をしっかりとやるという基本に忠実なら可能です。そ

れ以降、冬は気温がマイナス40度近くまで下がるモンゴルのウランバートルで生コン工場、ロシア極東のウラジオストクで橋を作った。今年はミャンマーの港湾工事へ参画します」

——材料の研究も熱心で、より多く技術革新していることがあります。

——蒲生美緒

域も製造の品質管理が難しいんです。ただ、本質は一貫性。原材料の温度や湿度管理をしっかりとやるという基本に忠実なら可能です。そ

れ以降、冬は気温がマイナス40度近くまで下がるモンゴルのウランバートルで生コン工場、ロシア極東のウラジオストクで橋を作った。今年はミャンマーの港湾工事へ参画します」

——材料の研究も熱心で、より多く技術革新していることがあります。

——蒲生美緒

——夢は何ですか。

「もう夢を追いかける年でもありませんが、経営者として大切にしているのは続けていくことです。幼い頃から創業者の祖父に『いい会社を継ぐんだよ』と

——夢は何ですか。

「もう夢を追いかける年でもありませんが、経営者として大切にしているのは続けていくことです。幼い頃から創業者の祖父に『いい会社を継ぐんだよ』と

から出土したガラス玉や古鏡など。タマサイを構成していた飾りとみられる

一連の出土品から「当時の様子が瞻る。この文様は中国や日本で古くから使われている。町教委の乾哲也学芸員は

20年開設のアイヌ文化復会の会長任期は2年。

——細川智子

——夢は何ですか。

「もう夢を追いかける年でもありませんが、経営者として大切にしているのは続けていくことです。幼い頃から創業者の祖父に『いい会社を継ぐんだよ』と

——夢は何ですか。

「もう夢を追いかける年でもありませんが、経営者として大切にしているのは続けていくことです。幼い頃から創業者の祖父に『いい会社を継ぐんだよ』と

——夢は何ですか。

「もう夢を追いかける年でもありませんが、経営者として大切にしているのは続けていくことです。幼い頃から創業者の祖父に『いい会社を継ぐんだよ』と